

第10号様式(第7項関係)

政務活動出張報告書

2021年 3月31日

会派名 清風会

代表者 檜崎三千夫 様

出張者 岡部 高広



次のとおり、政務活動(研修)のため出張したので、その概要を報告します。

1 出張先 福岡市博多区

2 出張日時 2021年 3月31日 1日間

3 政務活動事項

地方議員向け研修 「議員の基本『財政比較分析の仕方』①」、「議員の
基本『財政比較分析の仕方』②」

4 政務活動結果

別紙の通り

5 費用

32,480円

2021年3月31日

政務活動出張報告書・別紙

清風会 岡部 高広

(1) 日 時

2021年3月31日 (10:00~12:30、14:00~16:30)

(2) 行 先

福岡市博多区博多駅東リファレンス駅東ビル

(3) 講義内容

①「議員の基本『財政比較分析の仕方』①」

②「議員の基本『財政比較分析の仕方』②」

(4) 講師

元廿日市市副市長

(5) 概要・所感

地方自治体の議員として、基礎的な内容である予算における「財政」について学ばせていただいた。講師は元行政職員であり、廿日市市や広島県において財政の立て直しを実践して来られた方であり、わかりやすく、また、参加自治体の事例も交えていただきとても参考となった。まず、財政は構造であり、地方自治体の予算は、「一般会計」と「特別会計」からなり、特別会計（企業会計）は例えば会社みたいなものである。財政状況はインターネットで全ての自治体の状況が検索でき、活用できること。（総務省：決算財政状況資料集）また、比較として全国の自治体で類型により分類されており、これを比較することで問題や課題点が洗い出されることが理解できた。また、義務的経費（人件費、扶助費、公債費）のうち、扶助費は国で決めているもの、また、公債費は借入起債によるものであり、この2点については削減が難しい。人件費はコントロールできるものであり、自治体には職員定員（条例で最大を決めている）を管理するための「定員管理計画」があるので、内容を確認し、退職者に対して採用者の数がどうして決定されたのか？などを疑問視できるような議員になるべきである。また、将来負担比率も唐津市は相当ヤバイレベルとの指

摘を受けた。また、財政調整基金（家計では貯金にあたるもの）については、市執行部がどれ位を目標としているのか（標準財政規模の〇%を決めておく）などの関心を持っておくことが議員として必要である。この基金が今後の災害や今回のコロナ対応にも市独自の対策を行うのも必要であることを認識させられた。今後の市執行部への質問においても、ストーリーを考えた質問が出来るのでは。参考として、今回のコロナ対策で国の交付金や市独自の施策でどのような成果があったのか、のチェック（PDCA）が必要では。

今回の研修を受けた成果については、しっかりと同じような自治体（類似団体）と数値等を比較し、唐津市で何をやるべきかをしっかり考えていきたい。また、今後の人口減少に対応すべく、職員定数や起債残高をしっかりとチェックするため、数値化し見える化して対応したい。

第10号様式(第7項関係)

政務活動出張報告書

2021年



3月31日

会派名 清風会
代表者 檜崎三千夫 様

出張者 井上裕文



次のとおり、政務活動(研修)のため出張したので、その概要を報告します。

1 出張先 福岡市博多区

2 出張日時 2021年 3月31日 1日間

3 政務活動事項

地方議員向け研修

「議員の基本『財政比較分析の仕方』①」

「議員の基本『財政比較分析の仕方』②」

4 政務活動結果

別紙の通り

5 費用

32480円

以上

政務活動出張報告書・別紙

2021年4月1日

3月31日

清風会 井上裕文

(1) 日時

2021年3月31日(10:00~12:30、14:00~16:30)

(2) 行先

福岡市博多区博多駅東リファレンス駅東ビル

(3) 講義内容

①「議員の基本『財政比較分析の仕方』①」

②「議員の基本『財政比較分析の仕方』②」

(4) 講師

元廿日市市副市長

(5) 概要・所感

今年1月31日投開票の唐津市議会議員選挙で初当選し、最初の政務活動(研修)だった。講師の \blacksquare は広島県の元県庁職員で、同県廿日市市の副市長として行政経営システム改革や中期財政運営方針を担った実務家。自治体財政に関する講義では、主に総務省が公表している平成30年度の市町村別決算状況と財政状況資料集に目を通しながら自治体財政の勘所を学んだ。

財政状況資料集の「(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)」では、類似する20市との比較を通して唐津市の財政状況が悪化の一途をたどっていることが浮かび上がった。財政力指数は0.42で計21の類似団体のうち19位にとどまる。それだけではない。人件費・物件費等の状況は最下位、将来負担比率は18位、公債費負担は20位、定員管理の状況は20位といずれも下位に沈んでいる。

唐津市の財政状況は厳しい、という抽象的な問題意識から脱却できたことが

今回一番大きな収穫だ。課題の発見は、問題解決に向けた前進に等しい。例えば、市職員数の定員管理の状況では、人口千人あたりの職員数は唐津市が9.34人であることに對し、全国平均は7.95人だ。類似団体と比較した場合、特に市民と接する窓口業務に携わる職員数が多いことが観察できた。したがって、こうした職員を配置転換したり、削減したりする必要がある。

課題の発見に加えて、公共施設や財政、定員管理については中期計画の重要性を再確認した。一般的に情報化が進み、変化が激しい社会では中長期の計画を立てる意義は低い。しかし、公共施設や財政といった分野では施設の老朽化対策や元利償還といった点を考慮しなければならないため、中長期の視点は欠かせない。こうしたことを学んだのも収穫だった。

以上